

## 平成25年度第2回レジ袋削減協議会会議録

会 議	平成25年度 第2回レジ袋削減協議会
日 時	平成26年1月30日(木) 午前10時～正午
場 所	小牧市役所東庁舎 会議室2-2
出席者	<p><b>【事業者】</b>          伊藤(ユニー(株)アピタ小牧店)          中村(ユニー(株)アピタ桃花台店)          浅井(尾張中央農業協同組合)</p> <p><b>【市民団体】</b>          稲垣(小牧市女性の会)          林(小牧市女性の会)          平野(こまき環境市民会議)          船橋(小牧市区長会)          北出(ひまわり消費研究会)</p> <p><b>【行政】</b>          倉地(小牧市環境交通部長)          伊藤(環境対策課長)          林(廃棄物対策課長)</p> <p><b>【事務局】</b>          加藤(環境対策課係長)          野村(環境対策課主事補)</p>
傍 聴	なし
内 容	<p>1. あいさつ</p> <p>2. 議題          (1) 活動報告(資料1ページ)          ・市の広報への掲載を報告。</p> <p><b>【市民団体】</b>          ・事業者を紹介できたので、PRに繋がったのではないかと。          ・寄付金事業者について、寄付金額を載せた方が消費者が自分がレジ袋を断ることによって、寄付がされていることが実感できてよいのでは。</p> <p><b>【事業者】</b>          ・寄付金については、レジ袋の浮いた金額から出すのではなく、レジ袋収益金から出しているため、本来であれば寄付額は少ないほうがいいはず。金額を提示するのはあまり好ましくない。</p> <p><b>【事務局】</b>          ・寄付については、レジ袋収益金の一部からいただいているため金額を載せな</p>

いよう事業者名だけ掲載した。今後もこの欄は事業者名のみで掲載する。

(2) レジ袋削減の取組みに関するアンケートの結果報告について(資料2～11ページ)

**【事務局】**

- ・アンケート結果から、協議会参加を検討している事業者へコンタクトを図る。
- ・現在の協議会は、有料化が協定締結の条件となっているが、他市ではそれ以外の方法(ポイント付与・ポスターで啓発など)レジ袋の削減の活動をしているところがある。有料化はそのままに、もう1段階ハードルを下げてみるのはどうか。

**【市民団体】**

- ・2段階にすることに賛成。根幹には、レジ袋削減ということがあるので、事業者を受け入れやすいようにするのはレジ袋削減に繋がるのでは。
- ・有料化はそのままに、現在マイバッグを所持していないお客さん対策として、ポイントの付与などできないか。
- ・アンケート回答者は少なからずレジ袋削減に関心を持っているはず。回答者に対してアプローチがしたい。
- ・子供に対しレジ袋削減を啓発できないか。子供に釣られて親も見直せるはず。
- ・消費者にレジ袋削減を訴えるには、数字だけでなく図など視覚的に分かりやすいもので関心を引けないか。
- ・ポイントの付与が出来ないのであれば、CO2削減効果を訴えるなどしてPRしてみてもは。

**【事業者】**

- ・有料化ということで足並みを揃えているため、2段階にしてしまうと、現在締結している事業者が脱退すると言い出しかねない。
- ・ポイントの付与など、やりようは色々あるかもしれないが、経費がかかるものは難しい。また、ポイントの付与は有料化以前にやっていた施策であるため、後退と思われることはできない。
- ・消費者の理解も大切なので、理解を深めるよう啓発していくことも必要。

**【事務局】**

- ・レジ袋削減協議会参加の条件変更については見合わせる。
- ・アンケート回答者のうち、協議会参加検討事業者には今年度中にコンタクトを図る。
- ・アンケート回答者に対しては、協議会の参加を検討してもらえるようアプローチができないか検討する。